

復員廳第二復員局公報

第一四三號

昭和二十二年十月七日(火)

第二復員局文書課

○令 達

復二第七一二號

元第四十七號驅潛艇

元敷設艇 石 埼

元第十三號掃海特務艇

元第十八號掃海特務艇

元第二十一號掃海特務艇

右ノ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元敷設艇 粟 島

右ノ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元第二十一號掃海艇

右ノ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十二年十月一日

復員廳總裁

復二第七一三號

元第二十三號掃海艇

元敷設艇 神 島

第二番電 (昭和二十二年八月二十七日發電)
發 經理部長
宛 部内一般

○通 牒

右ノ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十二年十月三日

元敷設特務艇 片 島

元第二十號掃海特務艇

復員廳總裁

元特務艦 早 埼

元第十二號掃海特務艇

元第十七號掃海特務艇

右ノ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元第三百三十七號輸送艦

元水雷艇 雉

元第三十八號驅潛艇

右ノ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

復員廳第二復員局公報 第一四三號 昭和二十二年十月七日

一八九

俸給支給日特例等ニ關スル件

- 一 本年九月分ノ恒例諸給與(食料ヲ除キ且暫定加給ノ臨時増給ハ六割トスル)ノ支給日ハ九月一日ニ繰上ゲラル。
- 二 本年六月十二日第一番電(六月十六日公報參照)中「四月分乃至八月」ヲ「四月分乃至九月」ニ改メラル。

第一五番電(昭和二十二年九月二十六日番電濟)

發 第二復員局長

宛 部内一般

給與ノ應急措置ニ關スル件

本年九月一日現在内地ニアル第二復員部内各應ニ勤務スル者ニシテ暫定加給ノ支給ヲ受ケアルモノニハ應急措置トシテ左ノ給與ヲ支給スルコトニ定メラル。

一 支給額

本年九月一日現在ノ俸給、給料報酬、暫定加給、同臨時増給(六割)、臨時家族手当及ビ臨時勤務地手当ノ合計月額ノ三割ニ相當スル金額(十回未滿ハ十回ニ切上グ)ヲ支給ス但シツノ金額ガ三八〇回ニ滿タザルトキハ三八〇回トス

二 所得稅額

支給額ノ一割六分相當額

三 支出科目

給與特別措置費(目) 給與特別措置費(節) トス。

四 各復員局經理部長ハ所管各部ノ支給實績(人員並ビニ金額)

ヲ取纏メ十月末日迄ニ第二復員局經理部長宛通報ノコト。

二復員主第二號ノ一〇五

昭和二十二年九月三十日

復員廳第二復員局經理部長

支 出 (官) 費
各資金前渡官吏

船舶借料ノ一部自由支拂ニ關スル件通牒

船舶借料ノ支拂ニツイテハ、ソノ金額ノ五割マデハ、コレヲ自由支拂トシテ差支ナイコトニ定メラレタカララ知サレタイ。ナオ右ノ限度内ニオイテモ自由支拂ノ極力少額ヲシメタルヨウ留意スルトトモニ、二復員主第二號ノ四九通牒ノ要領ニヨリソノ實績ヲ報告サレタイ。

(參照 六月十二日第二復員局公報)

〇 雜 款

〇 正誤

八月二十八日附復員廳第二復員局公報第一三五號令達欄第一六七頁復二第五九五號第四條ニ號中「扶養家族ニツキ」ハ「扶養家族一人ニツキ」ノ誤

復員廳第二復員局公報

第一四四號

昭和二十二年十月十日(金)

第二復員局文書課

○令 達

復二第七三一號

復員廳分課規程中次ノヨウニ改正シ昭和二十二年十月三十日カラコレヲ施行スル。

昭和二十二年十月九日

復員廳 總裁

別紙第二ノ第二十八條表中吳地方復員局ノ項上陸地連絡所ノ欄「本島」ヲ削ル。

參照 昭和二十一年六月二十日第二復員局公報

復二第七三二號

復員廳地方復員局定員表中次ノヨウニ改正シ昭和二十二年十月三十日カラコレヲ施行スル。

昭和二十二年十月九日

復員廳 總裁

吳地方復員局ノ部中字品上陸地連絡所ノ項ヲ削リ計ノ項「八〇」シ「七四」ニ、「一九九」ヲ「一九三」ニ、「五七一」ヲ「五六五」ニ改メ合計ノ項中「三八五」ヲ「三七九」ニ、「八六一」ヲ

「八五五」ニ、「二六九六」ヲ「二六九〇」ニ改メル。

(參照 八月二十七日第二復員局公報)

○通 牒

第一三番電 (昭和二十二年十月一日發電済)

發 經理部長
宛 部内一般

係給支給日特例等ニ關スル件

一 本年十月分ノ恒例諸給與(食料ヲ除キ且暫定加給ノ臨時増給ハ六割トスル)ノ支給日ハ十月一日ニ繰上ゲラル。

二 本年六月十二日第一番電(六月十六日公報參照)中「四月乃至九月」ヲ「四月乃至十月」ニ改メル。

復二第七二七號

昭和二十二年十月八日

復員廳第二復員局文書課長

關係各部御中

第二復員局辭令公報廢止ノ件通牒

第二復員局辭令公報ハ十月二日發行ノ第六〇號限リコレヲ廢止シ、爾後辭令ハ第二復員局公報ニ辭令欄ヲ設ケテ掲載ノコトト

復員廳第二復員局公報 第一四四號

昭和二十二年十月十日

一九一

1591

サレク。

○雜 款

○郵便物發送先

試航船 桑 榮 丸 門司市西海岸通 佐世保管船部關門出張所内

同日 わかくさ丸 尾道郵便局氣付

同日 榮昌丸 愛媛縣新居濱郵便局氣付

同日 東亞丸 吳市吳地方復員局氣付

特別保管艦 海第二十六號殘務整理班

東舞鶴市長濱町舞鶴保管船部内

○事務所移轉

高橋大湊地方復員局補給部殘務整理事務所 青森縣下北郡大湊町宇田大湊保管船部内

新潟縣民生部世話課第二復員係 新潟市一番堀通り町五七五一番地

新潟縣分館 新潟縣民生部世話課内 (電話新潟 四〇三九 六一番)

○事務所

九月二十日閉鎖 特別保管艦海第二〇五、二〇七號殘務整理班

九月三十日閉鎖 舞鶴保管船部伏木出張所及松江出張所

十月五日閉鎖 吳地方復員局補給部尾道出張所

十月二日新設 舞鶴保管船部七尾出張所 石川縣七尾市久田新S.B.第一二二號氣付

管月殘務整理班 吳市兩城町三一白梅寮内

復員廳第二復員局公報

第一四五號

昭和二十二年十月十三日(月)
第二復員局文書課

通牒

復員第七三六號

昭和二十二年十月 日

給與課長

部長 關保各廳長殿

課長 附

無線通信士資格檢定期則ノ一部改正ニ關スル件通牒

首題ノ件ニツキ別紙ノ通り照會ガアツタカラ承知サレタイ。

(別紙第一)

波業第一七九七九號

昭和二十二年九月二十六日

東京 逓信局長

第二復員局長殿

無線通信士資格檢定期則ノ一部改正ニツイテ

今般無線通信士資格檢定期則ノ一部ガ改正サレ、別紙ノ通り公布實施サレタガ、ソノ要點ハ現下ノ經濟狀態ニ即應シテ檢定手數料ガ改訂サレタノト、從來發給ヲ中止シテイタ成規ノ合格證書ヲ復活及發給シ、航空級ノ檢定ヲ中止スルノニアルカラ、左記各號ヲ了知ノ上、貴所屬無線通信士ニ周知方ヨロシク取計

ラソレタイ。

記

一 昭和二十年五月十八日逓信省令第四十三號ニ基イテ發給シタ資格證明書ノ効力ハ、國內的ニハ本改正後モ變更ノナイコト。

ナオ、右資格證明書ヲ受有スル者デ、成規ノ合格證明書ニ書換ヲ希望スル場合ハ、規則第十一條ニヨル書換申請ニヨツテコレヲ行ツコト。

二 前號ノ省令ノ廢止ニ伴イ、規則第八條及ビ同第十一條ニ定メル戶籍抄本及ビ寫眞ノ提出ヲ要スルノデアルガ、右戶籍抄本ハ市區町村長ヲ發行スル戶籍記載事項證明書ヲモツテコレヲ代エルモ差支エナイコト。

三 無線通信士ノ選任届ニ添付スル履歷書、體格檢査證書、無線通信士資格檢定合格證書寫ハ、第一號ノ省令廢止後モ省略シテ差支エナイコト。

四 航空級ノ檢定ハ、當分ノ内行ソナイノデアルガ、既ニ發給シタ航空級合格證書ノ効力ニハ變更ノナイコト。

(別紙第二)

總理廳令 第三號
逓信省令

復員廳第二復員局公報 第一四五號 昭和二十二年十月十三日

一九三

1593

復員廳第二復員局公報

第一四六號

昭和二十二年十月十四日(火) 第二復員局文書課

命令 達

復員廳第二復員局公報 第七四三號
復員部内臨時勤務地手當支給規則ノ一部ヲ次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年十月十三日

復員廳 總裁

第一條甲地域中「福岡市及ビ門司市」ノ「福岡市、門司市、吳市及ビ佐世保市」ニ改メル。
附則
本改正規定中吳市ニ關スル部分ハ昭和二十二年五月一日、佐世保市ニ關スル部分ハ昭和二十二年六月一日以降ノ給與ニツキコレヲ適用スル。

通 牒

第一番電 (昭和二十二年九月二十七日發電濟)

發 第二復員局長
宛 部内一般

連合國引渡艦船乗員ノ航海日當及ビ退職手當
増額ノ件

連合國ニ引渡ス艦船ノ乗員ヲ引渡艦船ノ回航及ビ整備作業ニ從

復員廳第二復員局公報 第一四六號 昭和二十二年七月十四日

事スル者ニ左ニヨリ航海日當及ビ退職手當ヲ増額支給スルコトトシ本年七月一日以降コレヲ適用スルコトニ定メラレタ。

一 航海日當ノ増額

(イ) 引渡艦船乗員ヲ引渡艦船ノ整備、消毒、補給、清掃、回航等ノ作業ニ從事スル者ニハ第二復員部内職員給與規則及ビ本年七月第七番電ニ定メラレタ額ノ外更ニ一回航海作業毎ニ一人ニ付其ノ引渡地方英國ニ在ルモノニ付テハ三〇〇圓以内、ソ聯邦及ビ中華民國ニ在ルモノニ付テハ二〇〇圓以内、内地ニ在ルモノニ付テハ一〇〇圓以内ノ航海日當ヲ夫々増額支給スルコトヲ出來ル。

(ロ) 前號ノ航海日當ノ増額ハ回航任務終了ノ都度コレヲ支給スルモノトスル。

(ハ) 航海日當ノ増額支給ノ細目ニ關シテハ第二復員局經理部長コレヲ定メ關係ノ向ニ通知スル。

二 退職手當ノ増額

引渡艦船乗員ヲ前號(イ)ニ該當スル作業ニ從事シタ者退職スルトキハ第二復員部内退職手當支給規則ニ定メラレタ額ノ外更ニニ付給料又ハ報酬ノ一月分以内ヲ増額支給スルコトヲガデキル。

第二番電 (昭和二十二年九月二十七日發電濟)

發 經理部長

宛 各地方復員局經理部長、同管船部長、各艦船長

航海日當増額支給ニ關スル件

九月二十七日第一番電ヲ以テ首題ノ件ガ定メラレタガコレガ實施ハ左記了水ノ上處理サレタイ。

記

- 一 航海日當ノ増額ノ支給ヲ受ケル者ハ米國、英國、ソ聯邦及ビ中華民國ニ引渡スベキ艦船ノ乗員ヲ當該艦船ノ整備手人、消毒、補給、清掃、回航等ノ作業ニ従事スル者トスル。
- 二 前號ニ該當スル者デ英國、ソ聯邦及ビ中華民國ニ回航スル艦船ノ乗員ニハ一回航作業毎ニ一人ニ付英國沿岸ハ三〇〇回、ソ聯邦及ビ中華民國沿岸ハ二〇〇回、内地沿岸ニアル者ハ一回航作業毎ニ一〇〇回ノ金額ヲ支給スル。
- 三 前號ニ依リ支給スル金額ハ一回航ノ作業日數及ビ作業ノ難易等ニ應ジ必要アルトキハ各所屬ノ管船部長ガコレヲ減額スルコトガデキル。
- 四 一回航作業中ニ於テ乗員ノ補充交代ノアツタ場合ニ於テ支給スベキ金額ハ一回航ノ作業日數及ビ作業ノ難易等ニ應ジ第二號ノ金額以內ニ於テ各所屬ノ管船部長ソノ所屬復員局ノ經理部長ト協議ノ上コレヲ定メルモノトスル。
- 五 管船部長前各號ニヨリ支給スベキ金額ヲ定メタトキハ官職

氏名、金額、支給期間及ビ支給事由ヲ當該給與ノ掌理者ニ通報スルモノトスル。

六 各經理部長ハ各回航回次別ニ所管各部ノ支給実績(人員數ビニ金額)ヲ取纏メ其ノ都度連ニ第二復員局經理部長宛通報スルモノトスル。

○ 辭 令

十月三日發令(復員廳)

二十五號俸ヲ給スル	復員事務官 畑 中市 藏
同	同 永 長 孫 八
二十四號俸ヲ給スル	同 荒 木 義 廣
十八號俸ヲ給スル	

十月六日發令(復員廳)

白崎主計長復員事務官 谷 輪 英 男(シ五三)

○ 雜 款

○ 正 誤
十月十三日(月)公報通牒欄復二第七三六號ノ日附「十日」ヲ脱ス。

<p>願ニ依リ本官ヲ免ズル</p> <p>同 和田昇治(三三三)</p> <p>同 大山隆三(三三三)</p> <p>同 吉村正美(ク四七七)</p> <p>同 中村一郎(シ四三三)</p> <p>同 前田三郎(ク四七七)</p> <p>同 蟹山久登(ク四七七)</p> <p>同 榊田果知郎(ク四七七)</p>	<p>十月七日發令(復員廳)</p> <p>復員事務官 鋤柄健吾(二六四)</p> <p>池上巖(二八四)</p> <p>同 岸川正紀(四三三)</p> <p>同 久良知滋(四三三)</p> <p>同 是立康(二二四)</p> <p>同 松岡一良(三六四)</p> <p>同 齋藤泰正(六四四)</p> <p>同 岩澤宏(九三六)</p> <p>同 日高修(七五三)</p> <p>同 大山隆三(三三三)</p>	<p>十三號俸ヲ給スル</p> <p>同 吉村正美(ク四七七)</p> <p>同 中村一郎(シ四三三)</p> <p>同 前田三郎(ク四七七)</p> <p>同 蟹山久登(ク四七七)</p> <p>同 榊田果知郎(ク四七七)</p>	<p>十月八日發令(復員廳)</p> <p>佐世保管船部勤務復員事務官 佐藤百太郎(五〇六)</p> <p>加徳艦長ヲ命ズル</p> <p>元海軍中尉 加野久武男(七三六)</p> <p>右ハ六月二十日復員シタ</p> <p>元海軍少佐 多田和夫(三三二)</p> <p>元海軍主計大尉 服部誠太郎(三三三)</p> <p>同 重松幸雄(七七五)</p> <p>元海軍技術大尉 中條隆一郎(三〇八)</p> <p>右ハ九月十九日復員シタ</p>	<p>十三號俸ヲ給スル</p> <p>同 大山隆三(三三三)</p>
--	--	--	--	------------------------------------

第二復員局公報 第一四八號

昭和二十二年十月二十日(月)
第二復員局文書課

○令 達

復二第七五一號

元 驅逐艦 波 風
元 第四十九號 驅潜艇
元 第十四號 掃海特務艇
元 第二十二號 掃海特務艇
右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元 第七十二號 輸送艦
元 第九號 驅潜艇
元 敷設艇 濟 州
元 特務艇 白 崎
元 敷設特務艇 黒 島
右ヲ特別輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元 第十九號 掃海特務艇
右ヲ特別輸送艦トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十二年十月三日

復員 廳 總 裁

○辭 令

○昭和二十二年十月十日

復員事務官 平田仁貴知(三三三)
同 中村俊彦(四九八)
同 中田政雄(六九八)
同 岩上健(六四八)
同 田代幹夫(七七二)
同 坪田上次(特)
同 馬田清(三五三)
同 濱田義夫(ソ四四)
願ニ依リ本官ヲ免ズル

九月二十五日發令(復員廳)

輸第十九號乘組復員事務官 羽 仁 寛(八四五)
輸第十號乘組ヲ命ズル

十月十日發令(復員廳)

佐世保管船部勤務復員事務官 永 非 博(三五四)
舞鶴管船部勤務ヲ命ズル
榮昌丸乘組復員事務官 菅 井 超(五九六)
鷺崎航海長ヲ命ズル
横須賀管船部勤務復員事務官 青木和男(五四六)
榮昌丸乘組ヲ命ズル

(第二復員局公報 第一四八號 昭和二十二年十月二十日)

各 通 下關掃海部勤務ヲ命ズル 舞鶴管船部勤務復員事務官 佐世保管船部勤務復員事務官 松本嘉七(三八〇)	横須賀管船部勤務復員事務官 榎 積 鈺 彦(七九七)	復員事務官 牛田仁貴知(三三三)	同 中村俊彦(四〇〇)	同 岩上健(六〇八)	同 中田政雄(六九八)	同 坪田才次(特)	同 馬土清(シ五三)	同 濱川義夫(ソ四〇)	復員事務官ニ任命スル 三級ニ彼スル 三級ニ彼スル 復員事務官 高橋ヨシ	三號俸ヲ給スル 復員廳第二復員局人事部勤務ヲ命ズル 願ニ依リ本官ヲ免ズル	
右ハ六月二十一日復員シタ 元海軍軍醫大尉 高橋杏介(四六六)	右ハ七月十三日復員シタ 元海軍軍醫大尉 田中信義(六六五)	右ハ八月二十一日復員シタ 元海軍軍醫大尉 高松秀雄(三三〇)	右ハ八月二十七日復員シタ 元海軍軍醫中尉 峰英二(九九八)	右ハ八月二十七日復員シタ 元海軍軍醫大尉 齋藤盛夫(三六六)	右ハ九月七日復員シタ 元海軍軍醫中尉 坂井信一(六八二)	右ハ九月十九日復員シタ 元海軍軍醫少佐 石丸脩二(八四七)	右ハ九月十九日復員シタ 元海軍軍醫大尉 西澤英三郎(三三三)	右ハ九月十九日復員シタ 元海軍軍醫中尉 河見賢三(三三九)	右ハ九月十九日復員シタ 元海軍軍醫中尉 須崎高明(六四三)	右ハ九月三十日復員シタ 元海軍商科醫大尉 田口芳治(一五三)	右ハ九月三十日復員シタ 元海軍技術中尉 小山一郎(五〇四)

二〇〇

第二復員局公報 第一四九號

昭和二十二年十月二十二日(水)

○令 達

復二第七五七號

元 第一百十號 輸送艦

右ノ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元 軍艦 若 鷹

元 第二十一號 驅潜艇

課長 輸送艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解

部 昭二十二年十月十七日

第二復員局長

○通 牒

手帳 復二第七五五號

昭二十二年九月一日

復員廳第二復員局人事部長

復員廳第二復員局經理部長

各 廳 長 殿

退職手当支給ニ關スル件通牒

第二復員部内退職手当支給規則(以下單ニ規則トイフ)ニヨリ退職手当ヲ支給スル場合ハ左ニヨリ實施サレタイ。

一 今後退職スル者ハ特別ノ事情ナキ限り規則第四條ニヨリ「整理ニヨリ」退職スル者トシテ取扱フコトガデキル。

二 整理ニヨリ退職シタ者ニ對シ規則第七條ニヨリ退職手当ノ減額支給スル場合ノ支給額ヲ次ノ通りトスル。

- (イ) 在職期間六月未満ノ者
- (ロ) 規則第二條及ビ第四條ニヨリ算出シタ支給額ノ八割

勤務成績不良ノ者 同 五割

前項イ及ビロニ該當スル場合ハロニヨリ支給スル。

前三項ニ依ル支給額ニ付テハ規則第四條但書ノ規定ハ適用シナイ。

三 昭二十二年十二月二十八日二復經主第七號ノ一四一ハコレヲ廢止スル。

○ 辭 令

十月十五日發令(第二復員局)

大湊管船部勤務復員事務官 大熊安之助(三〇七) 横須賀地方復員局總務部勤務ヲ命スル

第二復員局公報 第一四九號 昭和二十二年十月二十二日

二〇一

1601

榮昌丸乗組ヲ命ズル
舞鶴管船部勤務復員事務官 成 正 義 (六八三)

同 武 政 實 (七〇六)

通各 佐世保管船部勤務復員事務官 近 藤 禎 介 (七〇三)

同 一 丸 弘 (六三〇)

下關掃海部勤務ヲ命ズル

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

輸第十九號 吳市下山手町 吳地方復員局管船部氣付

10.1602

第二復員局公報 第一五〇號

昭和二十二年十月二十五日(土)
第二復員局文書課

○ 令 達

第五番電 (昭和二十二年十月二十一日發電達)

發 第二復員局長

宛 部内一般

臨時手当支給ニ關スル件

本年十月二十日現在内地ニテ爾第二復員部内各廳ニ勤務スル者

其シテ暫定支給ノ支給ヲ受ケテイル者ニハ一時手当トシテ左ノ

給與ノ支給スルコトニ定ム。

支給額

本年十月三十日現在ノ俸給、給料(報酬ヲ含ム)、暫定支給、
同臨時支給(六割)及ビ臨時家族手当ノ合計月額(回位未滿
ノ端數ハ回位ニ滿タシム)ニ對シテ左ノ在勤廳所在地區分ニヨ
リ定メタル率ヲ乘ジタル額(回位未滿ノ端數ハ回位ニ滿タシ
ム)。

- (イ) 大阪市 八割
- (ロ) 東京都 六割五分
- (ハ) 横須賀市、吳市、舞鶴市及ビ佐世保市 五割
- (ニ) 前各號以外ノ市及ビ廣島縣大竹町 四割
- (ホ) 前號以外ノ町村 三割

第二復員局公報 第一五〇號 昭和二十二年十月二十五日

二 所得稅額

支給額ノ一割六分相當額

三 支出科目

- 一 給與特別措置費(日) 給與特別措置費(節)
- 二 各復員局經理部長ハ所管各部ノ支給實績(人員並ビニ金額)
ヲ取總ス十月末日迄ニ第二復員局經理部長宛通報ノコト。

○ 辭 令

○ 昭和二十二年十月十八日

願ニ依リ本官ヲ免ズル 復員事務官 生 胸 勝 二(シニ四)

二十一年八月九日發令(復員廳)

海軍中尉 森 保(ヨ、六三)

右充員召集ヲ解除ス

九月三十日發令(復員廳)

二十號俸ヲ給スル 復員事務官 坂 本 清 紀

願ニ依リ本官ヲ免ズル

十月十五日發令(第二復員局)

二〇三

<p>復員事務官 中山 定義(二八〇四) 富澤 友三郎 復員事務官 荻原 恒太郎</p> <p>十五號俸ヲ給スル 願ニ依リ本官ヲ免ズル</p>	<p>十月十六日發令(第二復員局)</p> <p>下關掃海部勤務復員事務官、竹川 孝男(四七四) 同 有山 幹夫(七〇四) 同 小林 一元(五六一) 同 大西 道永(七六九)</p> <p>兼大阪地方復員局總務部勤務ヲ命ズル 横須賀管船部勤務復員事務官、重木 正己(八〇五) 吳管船部勤務ヲ命ズル 佐世保管船部勤務復員事務官、石崎 勝之助(八三三) 同 山下 哲(八三六) 横須賀管船部勤務ヲ命ズル</p>	<p>十月十八日發令(第二復員局)</p> <p>巨濟航海長復員事務官 辻 滿壽夫(五九〇) 横須賀管船部勤務ヲ命ズル 巨濟乘組復員事務官 鈴木 眞(三六五) 巨濟航海長ヲ命ズル 佐世保管船部勤務復員事務官 中村 宏(六六六) 輪第十九號乘組ヲ命ズル</p>
<p>復員事務官 生駒 勝二(二一四二)</p> <p>十九號俸ヲ給スル</p> <p>十月二十日發令(第二復員局)</p> <p>横須賀管船部勤務復員事務官 横山 嘉司(八四四) 輪第十九號乘組ヲ命ズル</p>	<p>右ハ五月十七日復員シタ 元海軍少佐 永田 守(四四四)</p> <p>右ハ九月三日復員シタ 元海軍中尉 吉田 豊治(ヨク九三三)</p> <p>元海軍中尉 吉村 啓喜(クニ三三七)</p> <p>元海軍軍醫少佐 上川 名誠(ナカニ)</p> <p>元海軍軍醫少佐 元海軍主計大尉 中川 理一郎(ナカニ)</p> <p>右ハ九月十二日復員シタ</p>	

1604

第二復員局公報

第一五一號

昭和二十二年十月二十九日(水)
第二復員局文書課

○令 達

復二第七七〇號

昭和二十年内令第七號中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年十月二十七日

第二復員局長

下關掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「同 第二百二十二號、同 第二百四十六號」、「同 第七百七十二號(横)」及ビ「同 第二百四十九號(佐)、同 第二百二十二號(阪)、同 第二百四十一號(阪)」ヲ削ル。

(參照 昭和二十二年十月二十九日第二復員省公報第一〇號)

復二第七七一號

横須賀地方復員局所管、

掃海艦 驅潜特第七十一號

吳地方復員局所管

同 同 第二百二十二號

同 同 第二百四十六號

佐世保地方復員局所管

同 同 第二百四十九號

○通 牒

二復人扶第一六號ノ三八五

昭和二十二年十月二十八日

第二復員局人事部長
第二復員局經理部長

關係各廳長殿

掃海作業死傷手当ノ取扱ニ關スル件照會

首題ノ手當ハ掃海作業勤務者死傷手当給與規則第一條ニ該當スル場合ソノ都度迅速ニ同規則第五條ノ手續キガ執ラレテイルコトト思ウガ今般聯合軍最高司令部ノ指令ニヨリ第二復員局ノ廢止モ明確トナツタノデ遅クモ本年度中ニハ全部コレガ支給事務ヲ完了シナケレバナラナイカラ御了知ノ上萬遺漏ノナイヨウ極力速カニ處理方取計ソレタイ。

第二復員局公報 第一五一號 昭和二十二年十月二十九日

二〇五

1605